第60回年次学術講演会会場および座長(予定者)一覧表

※座長一覧の最新版は、当日のプログラムもしくは土木学会ホームページ(http://www.jsce.or.jp/committee/zenkoku/)をご覧ください。(2005/9/2修正版)

部門	会場	棟	教室	9月7日(水) 10:50-12:20	9月7日(水) 13:00-14:30	9月7日(水) 14:50-16:20	9月7日(水) 16:40-18:10	9月8日(木) 9:00-10:30	9月8日(木) 10:50-12:20	9月8日(木) 13:30-14:40	9月8日(木) 15:00-17:30	9月8日(木) 18:00-19:30	9月9日(金) 9:00-10:30	9月9日(金) 10:50-12:20	9月9日(金) 13:00-14:30	9月9日(金) 14:50-16:20	9月9日(金) 16:40-18:10
Ⅰ	Ⅰ-1	11号館	202	維持管理(1) Ⅰ-001～Ⅰ-007 阿部 允	維持管理(2) Ⅰ-008～Ⅰ-015 梶川 康男	維持管理(3) Ⅰ-016～Ⅰ-022 伊藤 裕一	維持管理(4) Ⅰ-023～Ⅰ-030 金 仁泰	維持管理(5) Ⅰ-031～Ⅰ-037 山口 栄輝	維持管理(6) Ⅰ-038～Ⅰ-044 佐々木 栄一	特別講演会 会場：早稲田大学大隈講堂 三谷土木学会長講演	パネルディスカッション 会場：早稲田大学大隈講堂 「日本の課題～都市再創造のための提言～」	交流会（学生も含む） 会場：リーガロイヤルホテル東京 参加費 一般6000円 学生2000円	維持管理(7) Ⅰ-045～Ⅰ-050 貝戸 清之	維持管理(8) Ⅰ-052～Ⅰ-058 舘石 和雄	維持管理(9) Ⅰ-059～Ⅰ-066 中島 章典	維持管理(10) Ⅰ-067～Ⅰ-073 松本 高志	-
	Ⅰ-2		203	橋梁の耐震(1) Ⅰ-074～Ⅰ-081 永田 和寿	橋梁の耐震(2) Ⅰ-082～Ⅰ-088 葛西 昭	橋梁の耐震(3) Ⅰ-089～Ⅰ-095 高橋 良和	橋梁の耐震(4) Ⅰ-096～Ⅰ-103 森下 邦宏	橋梁の耐震(5) Ⅰ-104～Ⅰ-110 秋山 充良	橋梁の耐震(6) Ⅰ-111～Ⅰ-117 成行 義文				橋梁の耐震(7) Ⅰ-118～Ⅰ-124 渡邊 学歩	橋梁の耐震(8) Ⅰ-125～Ⅰ-131 幸左 賢二	耐震設計法(1) Ⅰ-132～Ⅰ-137 松田 隆	耐震設計法(2) Ⅰ-138～Ⅰ-143 飛田 哲男	-
	Ⅰ-3		204	衝撃(実験) Ⅰ-144～Ⅰ-150 香月 智	衝撃(解析)(1) Ⅰ-151～Ⅰ-157 桝谷 浩	衝撃(解析)(2) Ⅰ-158～Ⅰ-163 別府 万寿博	非破壊評価/検査 Ⅰ-164～Ⅰ-171 松田 浩	接合(1) Ⅰ-172～Ⅰ-178 小野 潔	接合(2) Ⅰ-179～Ⅰ-185 中村 一史				地震防災(1) Ⅰ-186～Ⅰ-192 山本 欣弥	地震防災(2) Ⅰ-193～Ⅰ-199 丸山 喜久	地震防災(3) Ⅰ-200～Ⅰ-206 瀧本 浩一	地震防災(4) Ⅰ-207～Ⅰ-213 佐藤 新二	-
	Ⅰ-4		205	地震応答解析(1) Ⅰ-214～Ⅰ-220 清野 純史	地震応答解析(2) Ⅰ-221～Ⅰ-227 北原 武嗣	地震応答解析(3) Ⅰ-228～Ⅰ-235 一井 康二	地盤震動(解析) Ⅰ-236～Ⅰ-242 池田 隆明	地盤震動(観測)(1) Ⅰ-243～Ⅰ-248 野口 竜也	地盤震動(観測)(2) Ⅰ-249～Ⅰ-254 小田 義也				免震構造(実験)(1) Ⅰ-255～Ⅰ-261 吉田 純司	免震構造(実験)(2) Ⅰ-262～Ⅰ-268 運上 茂樹	免震構造(解析)(1) Ⅰ-269～Ⅰ-275 塩尻 弘雄	免震構造(解析)(2) Ⅰ-276～Ⅰ-281 川島 一彦	-
	Ⅰ-5		206	木橋・木質構造 Ⅰ-282～Ⅰ-289 三上 卓	耐風・風工学(1) Ⅰ-290～Ⅰ-297 村上 琢哉	耐風・風工学(2) Ⅰ-298～Ⅰ-305 麓 興一郎	耐風・風工学(3) Ⅰ-306～Ⅰ-311 本田 明弘	耐風・風工学(4) Ⅰ-312～Ⅰ-318 野村 卓史	耐風・風工学(5) Ⅰ-319～Ⅰ-325 楠原 栄樹				耐風・風工学(6) Ⅰ-326～Ⅰ-332 石原 孟	耐風・風工学(7) Ⅰ-333～Ⅰ-340 比江島 慎二	耐風・風工学(8) Ⅰ-341～Ⅰ-347 小林 紘士	-	-
	Ⅰ-6		301	座屈・耐荷力(1) Ⅰ-348～Ⅰ-355 中沢 正利	座屈・耐荷力(2) Ⅰ-356～Ⅰ-363 堂垣 正博	座屈・耐荷力(3) Ⅰ-364～Ⅰ-370 藤井 堅	座屈・耐荷力(4) Ⅰ-371～Ⅰ-377 北田 俊行	座屈・耐荷力(5) Ⅰ-378～Ⅰ-384 酒造 敏廣	座屈・耐荷力(6) Ⅰ-385～Ⅰ-390 小玉 乃理子				疲労(1) Ⅰ-391～Ⅰ-398 穴見 健吾	疲労(2) Ⅰ-399～Ⅰ-406 杉本 一朗	疲労(3) Ⅰ-407～Ⅰ-413 町田 文孝	疲労(4) Ⅰ-414～Ⅰ-420 中村 聖三	-
	Ⅰ-7		302	橋梁一般(施工) Ⅰ-421～Ⅰ-426 佐々木 保隆	橋梁一般(測定) Ⅰ-427～Ⅰ-433 南 邦明	橋梁一般(設計)(1) Ⅰ-434～Ⅰ-440 野上 邦栄	橋梁一般(設計)(2) Ⅰ-441～Ⅰ-447 杉山 俊幸	橋梁一般(設計)(3) Ⅰ-448～Ⅰ-454 前田 研一	橋梁一般(設計)(4) Ⅰ-455～Ⅰ-461 長井 正嗣				橋梁一般(設計)(5) Ⅰ-462～Ⅰ-468 向山 辰夫	橋梁一般(設計)(6) Ⅰ-469～Ⅰ-476 中村 俊一	橋梁一般(設計)(7) Ⅰ-477～Ⅰ-483 奥井 義昭	橋梁一般(設計)(8)/構造景観 Ⅰ-484～Ⅰ-491 入部 孝夫	-
	Ⅰ-8		304	診断・補修・補強(1) Ⅰ-492～Ⅰ-499 栗原 康行	診断・補修・補強(2) Ⅰ-500～Ⅰ-506 杉浦 江	診断・補修・補強(3) Ⅰ-507～Ⅰ-513 小林 孝一	診断・補修・補強(4) Ⅰ-514～Ⅰ-520 羽矢 洋	診断・補修・補強(5) Ⅰ-521～Ⅰ-527 上半 文昭	構造同定 Ⅰ-528～Ⅰ-533 清野 純史				橋梁振動(実験・測定)(1) Ⅰ-534～Ⅰ-541 米田 昌弘	橋梁振動(実験・測定)(2) Ⅰ-542～Ⅰ-548 庄司 朋宏	橋梁振動(実験・測定)(3) Ⅰ-549～Ⅰ-556 米田 昌弘	橋梁振動(理論) Ⅰ-557～Ⅰ-563 山口 宏樹	-
	Ⅰ-9		305	振動制御 Ⅰ-564～Ⅰ-570 五十嵐 晃	振動・波動 Ⅰ-571～Ⅰ-577 大塚 久哲	床版(1) Ⅰ-578～Ⅰ-585 日野 伸一	床版(2) Ⅰ-586～Ⅰ-593 大田 孝二	計算力学(1) Ⅰ-594～Ⅰ-601 井上 純哉	計算力学(2) Ⅰ-602～Ⅰ-608 市村 強				基礎の耐震 Ⅰ-609～Ⅰ-616 室野 剛隆	ダム・タンクの耐震 Ⅰ-617～Ⅰ-623 樋口 俊一	地中構造物・トンネルの耐震(1) Ⅰ-624～Ⅰ-630 小林 寛	地中構造物・トンネルの耐震(2) Ⅰ-631～Ⅰ-638 西岡 勉	-
	Ⅰ-10		306	強震動予測 Ⅰ-639～Ⅰ-644 野津 厚	地震危険度・地震動(震源特性) Ⅰ-645～Ⅰ-650 古本 吉倫	リアルタイム地震工学 Ⅰ-651～Ⅰ-656 目黒 公郎	橋梁一般(数値解析) Ⅰ-657～Ⅰ-663 矢部 正明	震害(1) Ⅰ-664～Ⅰ-670 宮島 昌克	震害(2) Ⅰ-671～Ⅰ-677 森 伸一郎				安全性・信頼性(1) Ⅰ-678～Ⅰ-683 丸山 收	安全性・信頼性(2) Ⅰ-684～Ⅰ-689 香月 智	-	-	-
Ⅱ	Ⅱ-1	7号館	209	大気水象・水文統計 Ⅱ-001～Ⅱ-008 神田 学	都市の水・熱環境 Ⅱ-009～Ⅱ-016 石平 博	PUB Ⅱ-017～Ⅱ-024 仲江川 敏之	気候変動・社会変動と水循環 Ⅱ-025～Ⅱ-032 多田 毅	地下水理 Ⅱ-033～Ⅱ-039 原田 守博	地下水・水質 Ⅱ-040～Ⅱ-046 中川 啓				流出・洪水(1) Ⅱ-047～Ⅱ-054 藤村 和正	流出・洪水(2) Ⅱ-055～Ⅱ-061 深見 和彦	水災害・防災 Ⅱ-062～Ⅱ-068 市川 温	-	-
	Ⅱ-2		218	流砂 Ⅱ-069～Ⅱ-076 伊藤 隆郭	土砂の生産・流出 Ⅱ-077～Ⅱ-084 泉 典洋	流路・河床変動 Ⅱ-085～Ⅱ-092 渡邊 康玄	ダム堆砂・排砂 Ⅱ-093～Ⅱ-100 角 哲也	水理構造物とその周辺の流れ Ⅱ-101～Ⅱ-108 前野 詩朗	河道の水理/植生の水理 Ⅱ-109～Ⅱ-116 岡部 健士				都市の氾濫流 Ⅱ-117～Ⅱ-124 重枝 未玲	数値流体力学 Ⅱ-125～Ⅱ-132 米山 望	管・開水路の流れと流体力 Ⅱ-133～Ⅱ-141 音田 慎一郎	-	-
	Ⅱ-3		219	波・流れ制御構造物 Ⅱ-142～Ⅱ-147 森屋 陽一	海岸・港湾・水産施設 Ⅱ-148～Ⅱ-155 山本 泰司	波力・流体力 Ⅱ-156～Ⅱ-161 林 建二郎	漂砂・底泥・海岸地形 Ⅱ-162～Ⅱ-169 西 隆一郎	津波 Ⅱ-170～Ⅱ-176 富田 孝史	海岸災害・防災 Ⅱ-177～Ⅱ-184 村上 啓介				風波・遡上・砕波 Ⅱ-185～Ⅱ-192 河合 弘泰	潮汐・流れ・物質循環 Ⅱ-193～Ⅱ-200 竹原 幸生	沿岸域の環境・生態系 Ⅱ-201～Ⅱ-208 古川 恵太	-	-
	Ⅱ-4		220	水圏の生態系(1) Ⅱ-209～Ⅱ-215 戸田 祐嗣	水圏の生態系(2) Ⅱ-216～Ⅱ-223 綾 史郎	水圏の生態系(3) Ⅱ-224～Ⅱ-231 島谷 幸宏	水圏環境の生態系 Ⅱ-232～Ⅱ-239 中村 由行	河川の水環境 Ⅱ-240～Ⅱ-247 池田 裕一	閉鎖水域環境 Ⅱ-248～Ⅱ-255 梅田 信				水理計測・観測手法(1) Ⅱ-256～Ⅱ-263 宮本 仁志	水理計測・観測手法(2) Ⅱ-264～Ⅱ-271 武藤 裕則	河川・流域管理 Ⅱ-272～Ⅱ-279 藤田 光一	河口の水理 Ⅱ-280～Ⅱ-287 矢野 真一郎	-
Ⅲ	Ⅲ-1	14号館	401	土質安定処理・地盤改良(1) Ⅲ-001～Ⅲ-006 北島 明	土質安定処理・地盤改良(2) Ⅲ-007～Ⅲ-013 野津 光夫	土質安定処理・地盤改良(3) Ⅲ-014～Ⅲ-021 早野 公敏	土質安定処理・地盤改良(4) Ⅲ-022～Ⅲ-027 藤原 斉郁	土質安定処理・地盤改良(5) Ⅲ-028～Ⅲ-035 藤崎 勝利	土質安定処理・地盤改良(6) Ⅲ-036～Ⅲ-042 平川 大貴				廃棄物(1) Ⅲ-043～Ⅲ-049 石井 武司	廃棄物(2) Ⅲ-050～Ⅲ-057 笹倉 剛	廃棄物(3) Ⅲ-058～Ⅲ-064 大下 武志	リサイクル(1) Ⅲ-065～Ⅲ-070 柴 錦春	リサイクル(2) Ⅲ-071～Ⅲ-079 望月 美登志
	Ⅲ-2		402	砂の変形強度 Ⅲ-080～Ⅲ-087 豊田 浩史	粘土の変形強度 Ⅲ-088～Ⅲ-096 小林 一三	土の動的性質 Ⅲ-097～Ⅲ-104 桑野 二郎	圧縮・圧密(1) Ⅲ-105～Ⅲ-111 原田 克之	圧縮・圧密(2) Ⅲ-112～Ⅲ-119 渡部 要一	圧縮・圧密(3) Ⅲ-120～Ⅲ-126 金田 一広				地盤の動的挙動(1) Ⅲ-127～Ⅲ-134 溜 幸生	地盤の動的挙動(2) Ⅲ-135～Ⅲ-141 規矩 大義	地盤の動的挙動(3) Ⅲ-142～Ⅲ-149 河井 正	地盤の動的挙動(4) Ⅲ-150～Ⅲ-157 檜尾 正也	地盤の動的挙動(5) Ⅲ-158～Ⅲ-164 原 忠
	Ⅲ-3		403	斜面(1) Ⅲ-165～Ⅲ-172 高橋 真一	斜面(2) Ⅲ-173～Ⅲ-180 後藤 聡	斜面(3) Ⅲ-181～Ⅲ-189 須藤 賢	火山工学/斜面(4) Ⅲ-190～Ⅲ-196 大野 博之	シールドトンネル(1) Ⅲ-197～Ⅲ-203 塩冶 幸男	シールドトンネル(2) Ⅲ-204～Ⅲ-210 関 伸司				トンネル(1) Ⅲ-211～Ⅲ-217 山本 拓治	トンネル(2) Ⅲ-218～Ⅲ-224 伊藤 哲男	トンネル(3) Ⅲ-225～Ⅲ-231 畑 浩二	トンネル(4) Ⅲ-232～Ⅲ-238 杉本 光隆	トンネル(5) Ⅲ-239～Ⅲ-244 蓼沼 慶正
	Ⅲ-4		404	支持力 Ⅲ-245～Ⅲ-252 高橋 章浩	杭(1) Ⅲ-253～Ⅲ-259 堀越 研一	杭(2) Ⅲ-260～Ⅲ-267 山野辺 慎一	杭(3) Ⅲ-268～Ⅲ-274 末政 直晃	土質安定処理・地盤改良(7) Ⅲ-275～Ⅲ-282 山田 岳峰	土質安定処理・地盤改良(8) Ⅲ-283～Ⅲ-291 藤岡 一頼				透水・浸透(1) Ⅲ-292～Ⅲ-299 神谷 浩二	透水・浸透(2) Ⅲ-300～Ⅲ-307 西田 憲司	透水・浸透(3) Ⅲ-308～Ⅲ-314 杉井 俊夫	透水・浸透(4) Ⅲ-315～Ⅲ-322 進士 喜英	透水・浸透(5) Ⅲ-323～Ⅲ-329 重野 喜政
	Ⅲ-5		405	土の物理化学的性質 Ⅲ-330～Ⅲ-337 下辺 悟	岩の工学的性質 Ⅲ-338～Ⅲ-346 京谷 孝史	凍結・凍土 Ⅲ-347～Ⅲ-353 小野 丘	不飽和土 Ⅲ-354～Ⅲ-362 村上 哲	基礎工 Ⅲ-363～Ⅲ-369 田村 昌仁	土壌地下水汚染 Ⅲ-370～Ⅲ-378 高坂 信章				安全性・信頼性 Ⅲ-379～Ⅲ-386 篠田 昌弘	都市地盤情報 Ⅲ-387～Ⅲ-394 片桐 雅明	締固め Ⅲ-395～Ⅲ-401 竹村 次朗	-	-
	Ⅲ-6		407	地盤の性能評価/ﾘｽｸﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ Ⅲ-402～Ⅲ-407 石黒 健	維持・補修 Ⅲ-408～Ⅲ-414 萩原 敏行	地下空洞と地下構造物(1) Ⅲ-415～Ⅲ-421 岸田 潔	地下空洞と地下構造物(2) Ⅲ-422～Ⅲ-428 宇野 晴彦	現場計測(1) Ⅲ-429～Ⅲ-434 澤田 俊一	現場計測(2) Ⅲ-435～Ⅲ-441 河西 基				地盤の応力と変形 Ⅲ-442～Ⅲ-449 小林 義和	数値解析 Ⅲ-450～Ⅲ-458 土倉 泰	掘削・土留め Ⅲ-459～Ⅲ-464 佐々木 俊平	-	-
	Ⅲ-7		408	試験法・調査法(1) Ⅲ-465～Ⅲ-470 本多 剛	試験法・調査法(2) Ⅲ-471～Ⅲ-476 西山 哲	試験法・調査法(3) Ⅲ-477～Ⅲ-483 山辺 正	フィルダム Ⅲ-484～Ⅲ-490 高橋 章	補強土(1) Ⅲ-491～Ⅲ-497 平井 貴雄	補強土(2) Ⅲ-498～Ⅲ-504 廣岡 明彦				特殊土(1) Ⅲ-505～Ⅲ-510 山下 聡	特殊土(2) Ⅲ-511～Ⅲ-516 鎌尾 彰司	-	-	-
Ⅳ	Ⅳ-1	3号館	103	防災計画(1) Ⅳ-001～Ⅳ-007 宇治田 和	防災計画(2) Ⅳ-008～Ⅳ-013 長江 剛志	災害情報 Ⅳ-014～Ⅳ-019 横松 宗太	避難行動 Ⅳ-020～Ⅳ-027 吉村 美保	交通分布・分担 Ⅳ-028～Ⅳ-035 倉内 慎也	交通ネットワーク Ⅳ-036～Ⅳ-041 円山 琢也				交通シミュレーション Ⅳ-042～Ⅳ-047 田中 伸治	計量分析 Ⅳ-048～Ⅳ-053 三古 展弘	PI・住民参加(1) Ⅳ-054～Ⅳ-060 谷口 綾子	PI・住民参加(2) Ⅳ-061～Ⅳ-068 鈴木 温	-
	Ⅳ-2		101	軌道管理(1) Ⅳ-069～Ⅳ-076 小林 幹人	軌道管理(2) Ⅳ-077～Ⅳ-084 橋場 孝幸	軌道保守(1) Ⅳ-085～Ⅳ-092 坂本 成弘	軌道保守(2) Ⅳ-093～Ⅳ-100 塩見 環	車輪/レール接触 Ⅳ-101～Ⅳ-108 佐藤 安弘	軌道力学 Ⅳ-109～Ⅳ-116 紅露 一寛				軌道材料(1) Ⅳ-117～Ⅳ-124 船田 智巳	軌道材料(2) Ⅳ-125～Ⅳ-132 柳川 秀明	ロングレール Ⅳ-133～Ⅳ-138 越野 義孝	軌道構造 Ⅳ-139～Ⅳ-146 村尾 和彦	災害復旧・保守支援 Ⅳ-147～Ⅳ-153 金尾 稔
	Ⅳ-3		102	鉄道防災①(洗掘・斜面) Ⅳ-154～Ⅳ-160 布川 修	鉄道防災②(水害・土質) Ⅳ-161～Ⅳ-167 垣尾 徹	鉄道防災③(地震・衝突・火災) Ⅳ-168～Ⅳ-173 藤沢 一	構造物の設計・施工 Ⅳ-174～Ⅳ-180 古山 章一	構造物の保守(1) Ⅳ-181～Ⅳ-188 久楽 博	構造物の保守(2) Ⅳ-189～Ⅳ-194 長縄 卓夫				景観評価 Ⅳ-195～Ⅳ-202 柴田 久	空間認識・空間構成 Ⅳ-203～Ⅳ-210 福井 恒明	景観調査・分析 Ⅳ-211～Ⅳ-218 田中 尚人	土木史・歴史的景観 Ⅳ-219～Ⅳ-226 鈴木 伸治	-
	Ⅳ-4		104	地区計画 Ⅳ-227～Ⅳ-233 寺部 慎太郎	都市・地域計画(1) Ⅳ-234～Ⅳ-241 梶田 佳孝	都市・地域計画(2) Ⅳ-242～Ⅳ-247 岸 邦宏	観光 Ⅳ-248～Ⅳ-253 福田 大輔	空間情報計測・分析(1) Ⅳ-254～Ⅳ-261 金井 昌信	空間情報計測・分析(2) Ⅳ-262～Ⅳ-269 國井 洋一				計画制度 Ⅳ-270～Ⅳ-275 大西 正光	リスク分析 Ⅳ-276～Ⅳ-282 及川 康	歩行者・自転車交通 Ⅳ-283～Ⅳ-290 日野 智	高齢者・身障者交通 Ⅳ-291～Ⅳ-296 松中 亮治	-
	Ⅳ-5		105	交通事故 Ⅳ-297～Ⅳ-302 平田 輝満	交通環境 Ⅳ-303～Ⅳ-309 岡田 啓	交通流・交通制御 Ⅳ-310～Ⅳ-317 野中 康弘	道路交通 Ⅳ-318～Ⅳ-325 小根山 裕之	交通調査・計測 Ⅳ-326～Ⅳ-331 森尾 淳	交通サービス評価 Ⅳ-332～Ⅳ-339 岡村 敏之				鉄軌道計画 Ⅳ-340～Ⅳ-345 山下 良久	公共交通 Ⅳ-346～Ⅳ-351 谷本 圭志	バス交通 Ⅳ-352～Ⅳ-359 矢部 努	物流 Ⅳ-360～Ⅳ-365 石倉 智樹	-
Ⅴ	Ⅴ-1	8号別館	B-107	アルカリ骨材反応(1) Ⅴ-001～Ⅴ-006 鳥居 和之	アルカリ骨材反応(2) Ⅴ-007～Ⅴ-013 河野 広隆	アルカリ骨材反応(3) Ⅴ-014～Ⅴ-020 丸屋 剛	アルカリ骨材反応(4) Ⅴ-021～Ⅴ-027 宮川 豊章	維持管理(1) Ⅴ-028～Ⅴ-035 鶴田 浩章	維持管理(2) Ⅴ-036～Ⅴ-042 武若 耕司				劣化予測 Ⅴ-043～Ⅴ-050 森川 英典	補修・補強(1) Ⅴ-051～Ⅴ-057 野島 昭二	補修・補強(2) Ⅴ-058～Ⅴ-064 横田 弘	補修・補強(3) Ⅴ-065～Ⅴ-071 守分 敦郎	-
	Ⅴ-2		308	舗装一般 Ⅴ-072～Ⅴ-079 丸山 記美雄	構造評価(舗装) Ⅴ-080～Ⅴ-087 竹内 康	構造設計(舗装) Ⅴ-088～Ⅴ-095 上浦 正樹	路面評価(舗装) Ⅴ-096～Ⅴ-103 秋本 隆	セメント系舗装 Ⅴ-104～Ⅴ-110 野田 悦郎	路床・路盤 Ⅴ-111～Ⅴ-118 桃谷 尚嗣				アスファルト系舗装 Ⅴ-119～Ⅴ-126 新田 弘之	リサイクル(舗装) Ⅴ-127～Ⅴ-134 江向 俊文	舗装材料 Ⅴ-135～Ⅴ-142 吉田 隆輝	維持・修繕(舗装) Ⅴ-143～Ⅴ-149 井原 務	特殊舗装 Ⅴ-150～Ⅴ-156 鈴木 秀輔
	Ⅴ-3		309	防食(1) Ⅴ-157～Ⅴ-163 上田 隆雄	防食(2) Ⅴ-164～Ⅴ-170 久田 真	鋼材腐食(1) Ⅴ-171～Ⅴ-178 大即 信明	鋼材腐食(2) Ⅴ-179～Ⅴ-186 小林 孝一	塩害(1) Ⅴ-187～Ⅴ-194 佐伯 竜彦	塩害(2)/ライフサイクル Ⅴ-195～Ⅴ-201 濵田 秀則				耐久性一般(1) Ⅴ-202～Ⅴ-208 河合 研至	耐久性一般(2) Ⅴ-209～Ⅴ-215 石田 哲也	耐久性一般(3) Ⅴ-216～Ⅴ-222 田中 博一	耐久性一般(4) Ⅴ-223～Ⅴ-228 坂井 悦郎	-
	Ⅴ-4		310	骨材 Ⅴ-229～Ⅴ-235 加賀谷 誠	混和剤 Ⅴ-236～Ⅴ-242 熊野 知司	混和材 Ⅴ-243～Ⅴ-248 三宅 淳一	フレッシュコンクリート Ⅴ-249～Ⅴ-255 日比野 誠	品質管理・検査 Ⅴ-256～Ⅴ-262 大友 健	評価・試験方法 Ⅴ-263～Ⅴ-269 渡邉 賢三				締固め Ⅴ-270～Ⅴ-275 坂井 吾郎	クリープ・収縮 Ⅴ-276～Ⅴ-283 入矢 桂史郎	引張・圧縮 Ⅴ-284～Ⅴ-290 下村 匠	温度応力 Ⅴ-291～Ⅴ-298 溝渕 利明	ひび割れ Ⅴ-299～Ⅴ-306 宮里 心一
	Ⅴ-5		311	短繊維補強コンクリート(1) Ⅴ-307～Ⅴ-314 六郷 恵哲	短繊維補強コンクリート(2) Ⅴ-315～Ⅴ-321 田口 史雄	短繊維補強コンクリート(3) Ⅴ-322～Ⅴ-328 国枝 稔	新材料・新工法 Ⅴ-329～Ⅴ-334 村上 祐治	高流動コンクリート Ⅴ-335～Ⅴ-341 三浦 律彦	製造・施工 Ⅴ-342～Ⅴ-347 新藤 竹文				特殊ｺﾝｸﾘｰﾄ・吹付けｺﾝｸﾘｰﾄ Ⅴ-348～Ⅴ-355 福留 和人	膨張コンクリート Ⅴ-356～Ⅴ-362 岸 利治	軽量コンクリート Ⅴ-363～Ⅴ-369 内田 昌勝	凍結融解 Ⅴ-370～Ⅴ-376 林 大介	複合劣化 Ⅴ-377～Ⅴ-383 横関 康祐
	Ⅴ-6		312	再生コンクリート(1) Ⅴ-384～Ⅴ-390 辻 正哲	再生コンクリート(2) Ⅴ-391～Ⅴ-397 河井 徹	リサイクル(1) Ⅴ-398～Ⅴ-404 堺 孝司	リサイクル(2) Ⅴ-405～Ⅴ-412 浦野 真次	耐火性(1) Ⅴ-413～Ⅴ-418 伊藤 祐二	耐火性(2) Ⅴ-419～Ⅴ-423 田嶋 仁志				副産物利用・再生材料(1) Ⅴ-424～Ⅴ-431 杉山 隆文	副産物利用・再生材料(2) Ⅴ-432～Ⅴ-439 綾野 克紀	副産物利用・再生材料(3) Ⅴ-440～Ⅴ-446 添田 政司	エコ・緑化コンクリート Ⅴ-447～Ⅴ-453 藤原 浩已	-
	Ⅴ-7		411	構造設計 Ⅴ-454～Ⅴ-460 緒方 紀夫	耐震診断/耐震補強(1) Ⅴ-461～Ⅴ-467 幸左 賢二	耐震補強(2) Ⅴ-468～Ⅴ-475 鳥取 誠一	耐震(1) Ⅴ-476～Ⅴ-482 三田村 浩	耐震(2) Ⅴ-483～Ⅴ-490 山田 武正	耐震(3) Ⅴ-491～Ⅴ-498 長田 光司				連続繊維補強コンクリート(1) Ⅴ-499～Ⅴ-506 山本 貴士	連続繊維補強コンクリート(2) Ⅴ-507～Ⅴ-513 小林 朗	連続繊維補強コンクリート(3) Ⅴ-514～Ⅴ-520 谷村 幸裕	せん断・ねじり(1) Ⅴ-521～Ⅴ-528 佐藤 靖彦	せん断・ねじり(2) Ⅴ-529～Ⅴ-535 川口 直能
	Ⅴ-8		412	新材料・新工法(1) Ⅴ-536～Ⅴ-541 津吉 毅	新材料・新工法(2) Ⅴ-542～Ⅴ-547 田嶋 仁志	プレキャストコンクリート Ⅴ-548～Ⅴ-554 徳光 卓	プレストレストコンクリート Ⅴ-555～Ⅴ-562 睦好 宏史	付着・定着・継手 Ⅴ-563～Ⅴ-570 島 弘	数値解析 Ⅴ-571～Ⅴ-577 吉川 弘道				構造物調査・診断 Ⅴ-578～Ⅴ-585 大津 政康	非破壊試験法(1) Ⅴ-586～Ⅴ-592 魚本 健人	非破壊試験法(2) Ⅴ-593～Ⅴ-600 勝木 太	非破壊試験法(3) Ⅴ-601～Ⅴ-608 森濱 和正	非破壊試験法(4) Ⅴ-609～Ⅴ-615 鎌田 敏郎
Ⅵ	Ⅵ-1	14号館	501	山岳トンネル(1) Ⅵ-001～Ⅵ-007 野城 一栄	山岳トンネル(2) Ⅵ-008～Ⅵ-014 石村 利明	山岳トンネル(3) Ⅵ-015～Ⅵ-021 柳森 豊	山岳トンネル(4) Ⅵ-022～Ⅵ-028 中北 昭浩	山岳トンネル(5) Ⅵ-029～Ⅵ-035 芥川 真一	施工技術(1) Ⅵ-036～Ⅵ-042 稲葉 力				施工技術(2) Ⅵ-043～Ⅵ-049 柄 登志彦	施工技術(3) Ⅵ-050～Ⅵ-057 宮田 和	施工技術(4) Ⅵ-058～Ⅵ-065 田坂 幹雄	施工技術(5) Ⅵ-066～Ⅵ-074 中出 剛	-
	Ⅵ-2		502	シールドトンネル(1) Ⅵ-075～Ⅵ-082 小西 真治	シールドトンネル(2) Ⅵ-083～Ⅵ-090 中川 雅由	シールドトンネル(3) Ⅵ-091～Ⅵ-098 高橋 聡	シールドトンネル(4) Ⅵ-099～Ⅵ-106 梶原 雅生	シールドトンネル(5) Ⅵ-107～Ⅵ-113 井上 啓明	シールドトンネル(6) Ⅵ-114～Ⅵ-121 斉藤 正幸				検査技術・診断(1) Ⅵ-122～Ⅵ-128 安東 祐樹	検査技術・診断(2) Ⅵ-129～Ⅵ-135 杉原 豊	検査技術・診断(3) Ⅵ-136～Ⅵ-142 岡野 法之	情報化施工 Ⅵ-143～Ⅵ-149 小林 薫	-
	Ⅵ-3		514	リニューアル(1) Ⅵ-150～Ⅵ-157 船越 博行	リニューアル(2) Ⅵ-158～Ⅵ-164 木村 哲士	リニューアル(3) Ⅵ-165～Ⅵ-171 進士 正人	リニューアル(4) Ⅵ-172～Ⅵ-179 清水 満	リニューアル(5) Ⅵ-180～Ⅵ-187 栗林 健一	リニューアル(6) Ⅵ-188～Ⅵ-194 入矢 桂史郎				リニューアル(7) Ⅵ-195～Ⅵ-202 鈴木 啓司	技術開発(1) Ⅵ-203～Ⅵ-210 村上 祐治	技術開発(2) Ⅵ-211～Ⅵ-218 守屋 洋一	ダム Ⅵ-219～Ⅵ-227 山岸 保	-
	Ⅵ-4		515	設計技術 Ⅵ-228～Ⅵ-234 西垣 和弘	地下構造物 Ⅵ-235～Ⅵ-242 井上 昭生	各種基礎 Ⅵ-243～Ⅵ-249 川崎 廣貴	地盤改良 Ⅵ-250～Ⅵ-257 深田 久	橋梁 Ⅵ-258～Ⅵ-265 猪爪 一良	港湾・海洋構造物 Ⅵ-266～Ⅵ-272 宍倉 知広				測量・計測(1) Ⅵ-273～Ⅵ-280 北詰 恵一	測量・計測(2) Ⅵ-281～Ⅵ-287 布施 孝志	施工計画 Ⅵ-288～Ⅵ-295 白砂 健	建設環境 Ⅵ-296～Ⅵ-301 伊藤 洋	-
	Ⅵ-5		505	建設マネジメント(1) Ⅵ-302～Ⅵ-309 柴野 正一	建設マネジメント(2) Ⅵ-310～Ⅵ-317 長谷川 専	公共マネジメント Ⅵ-318～Ⅵ-325 三輪 晴文	建設CALS/人材育成 Ⅵ-326～Ⅵ-333 大西 正光	-	-				-	-	-	-	-
Ⅶ	Ⅶ-1	7号館	319	水管理 Ⅶ-001～Ⅶ-007 長岡 裕	浄水処理/栄養塩除去 Ⅶ-008～Ⅶ-014 尾崎 博明	膜分離/物理化学処理 Ⅶ-015～Ⅶ-022 海老江 邦雄	嫌気性処理 Ⅶ-023～Ⅶ-030 黒田 正和	好気性処理 Ⅶ-031～Ⅶ-038 上村 繁樹	土壌・地下水汚染(1) Ⅶ-039～Ⅶ-045 下村 雅則				土壌・地下水汚染(2) Ⅶ-046～Ⅶ-051 鈴木 祥広	土壌・地下水汚染(3) Ⅶ-052～Ⅶ-057 今立 文雄	-	-	-
	Ⅶ-2		321	ﾊﾞｲｵﾚﾒﾃﾞｨｴｰｼｮﾝ/遺伝子工学 Ⅶ-058～Ⅶ-065 浦瀬 太郎	水質浄化技術(1) Ⅶ-066～Ⅶ-073 宮脇 健太郎	水質浄化技術(2) Ⅶ-074～Ⅶ-081 尾崎 則篤	水質浄化技術(3) Ⅶ-082～Ⅶ-088 亀屋 隆志	水質浄化技術(4) Ⅶ-089～Ⅶ-095 中野 和典	水質浄化技術(5) Ⅶ-096～Ⅶ-099 五明 美智男				水環境モデリング Ⅶ-100～Ⅶ-107 福田 晴耕	水環境モニタリング Ⅶ-108～Ⅶ-115 田中 宏明	-	-	-
	Ⅶ-3		418	水質モニタリング(1) Ⅶ-116～Ⅶ-123 市木 敦之	水質モニタリング(2) Ⅶ-124～Ⅶ-130 瀧 和夫	水質モニタリング(3) Ⅶ-131～Ⅶ-138 中村 由行	水質モニタリング(4) Ⅶ-139～Ⅶ-146 山西 博幸	埋立処分場管理 Ⅶ-147～Ⅶ-154 土手 裕	廃棄物管理(1) Ⅶ-155～Ⅶ-161 星山 英一				廃棄物管理(2) Ⅶ-162～Ⅶ-168 松藤 康司	廃棄物管理(3) Ⅶ-169～Ⅶ-172 大塚 義一	-	-	-
	Ⅶ-4		419	振動 Ⅶ-173～Ⅶ-181 宮木 康幸	騒音 Ⅶ-182～Ⅶ-188 長谷部 正基	熱環境 Ⅶ-189～Ⅶ-195 福田 萬大	環境管理/環境教育 Ⅶ-196～Ⅶ-201 松本 亨	環境創造・ビオトープ Ⅶ-202～Ⅶ-207 髙橋 政稔	生態環境工学(1) Ⅶ-208～Ⅶ-213 楠田 哲也				生態環境工学(2) Ⅶ-214～Ⅶ-220 関根 雅彦	生態環境工学(3) Ⅶ-221～Ⅶ-227 江成 敬次郎	-	-	-
CS SS	CS-1	15号館	03	CS2-複合構造物(1) CS2-001～007 中村 俊一	CS2-複合構造物(2) CS2-008～014 奥井 義昭	CS2-複合構造物(3) CS2-015～021 大垣 賀津雄	CS2-複合構造物(4) CS2-022～028 杉浦 邦征	CS2-複合構造物(5) CS2-029～035 山田 岳史	CS2-複合構造物(6) CS2-036～042 渡辺 忠朋				CS2-複合構造物(7) CS2-043～049 本間 淳史	CS2-複合構造物(8) CS2-050～056 上平 謙二	CS2-複合構造物(9) CS2-057～063 山田 聖志	CS2-複合構造物(10) CS2-064～070 輿石 正己	-
	CS-2		04	CS1-土木教育一般(1) CS1-001～007 奥村 俊行	CS1-土木教育一般 CS1-008～014 見附 敬三	CS1-土木教育一般(3) CS1-015～022 吉川 正嗣	CS11-土木分野におけるﾃﾞｼﾞﾀﾙ～ CS11-001～005 桑原 清	CS10-道路橋床版(1) CS10-001～006 堀川 都志雄	CS10-道路橋床版(2) CS10-007～013 蛯名 貴之				CS10-道路橋床版(3) CS10-014～020 松井 繁之	CS10-道路橋床版(4) CS10-021～027 街道 浩	CS10-道路橋床版(5) CS10-028～034 関口 幹夫	CS10-道路橋床版(6) CS10-035～041 横山 和昭	-
	CS-3		102	CS6-計算力学(1) CS6-001～007 岡澤 重信	CS6-計算力学(2) CS6-008～015 寺田 賢二郎	CS6-計算力学(3) CS6-016～023 樫山 和男	CS3-開発途上国における～ CS3-001～005 角川 浩二	CS14-情報社会基盤の創発～(1) CS14-001～007 青山 憲明	CS14-情報社会基盤の創発～(2) CS14-008～013 水野 裕介				CS7-地下空間の多角的利用(1) CS7-001～006 京谷 孝史	CS7-地下空間の多角的利用(2) CS7-007～012 土門 剛	CS15-環境教育の展開：～ CS15-001～007 笹谷 康之	-	-
	CS-4	7号館	113	CS16-革新的構造材料(1) CS16-001～007 下村 匠	CS16-革新的構造材料(2) CS16-008～013 西崎 到	CS9-流域管理と地域計画の連携 CS9-001～008 福岡 捷二	-	-	-				-	CS12-土木の情報環境整備～ CS12-001～006 小野田 滋	CS4-緑化(1) CS4-001～005 佐藤 厚子	CS4-緑化(2) CS4-006～010 斉藤 与司二	-
	SS-1		113	-	-	-	-	SS1-災害と土木技術(1) SS1-001～004 山村 悦夫	SS1-災害と土木技術(2) SS1-005～007 清宮 理				-	-	-	-	-
研究討論会		11号館	307	-	【研01】ITS社会実現のための処方箋	【研02】風車の安全性を検証する－耐風安全性の検証と設計への提言－	【研03】土木の未来は？－誇りを持て、元気を出せ！土木技術者－	-	【研04】CSR（企業の社会的責任）と男女共同参画社会の実現				-	-	-	-	-
		7号館	112	-	【研05】京都議定書発効！今後の温暖化対策はどう進むか	【研06】土構造の性能評価化における課題	【研07】公共政策デザイナー教育の意義とその必要性	-	【研08】コンクリート構造物の超長期耐久性評価～				-	-	-	-	-
			113	-	-	-	【研09】土木工学におけるEngineering Design教育～	-	-				-	-	-	-	-
		8号館	B-101		【研10】環境と防災の連携－新しい技術と制度の開発可能性	【研11】地下から宇宙の謎へ（土木工学と最先端技術の融合）	【研12】舗装の設計が変わる！～使用規定から性能照査へ～	【研13】ライフラインの維持管理における自動化・情報化技術は今！～	【研14】最近の豪雨洪水災害の特徴と治水・水防災技術の転換				-	【研15】次世代鋼橋設計基準を考える－橋の性能、姿はどう変わるか－	【研16】土木技術者の情報教育 大学・企業・官庁の取り組みは～	-	-
			B-102	【研17】地震による山岳トンネルの被害と今後の課題	-	【研18】2004年10月23日新潟県中越地震の被害と教訓	【研19】東海地震等巨大海溝型地震に対する社会基盤施設の耐震性	【研20】わが国の建設企業の海外戦略に寄せる期待 第1部	【研21】わが国の建設企業の海外戦略に寄せる期待 第2部				【研22】性能設計化における地震時使用性照査としての経済性照査法	【研23】わが国の建設製品に係わる認証制度の現状と今後の動向	【研24】どう遺す、どう活かす・未来への遺産 土木アーカイブズ	【研25】「土木への行動」私たちは今何が出来るのか	-

共通セッション名、特別セッション名：CS1-土木教育一般　CS2-複合構造物　CS3-開発途上国におけるプロジェクト-問題・解決策・成果-　CS4-緑化　CS6-計算力学　CS7-地下空間の多角的利用　CS9-流域管理と地域計画の連携　CS10-道路橋床版　CS11-土木分野におけるデジタル画像の利用と可能性
CS12-土木の情報環境整備に向けて土木資料の検索，提供と収集，保存　CS14-情報社会基盤の創発に向けて　CS15-環境教育の展開：ケーススタディから見える環境実践活動　CS16-革新的構造材料　SS1-災